



学生がモチベーションを 持ち続けられるように、きめ細かく支援。

授業

跡見学園女子大学では、感染状況に応じた独自の活動指針を策定し、それに基つき授業実施形態を決定しています。

例えば、学生を半数ずつに分け隔週で通学する「分散登校」を行っています。また、感染状況によって、対面授業を実施する科目を増減し、学内が密状態にならないよう登校人数をコントロールしています。

対面授業への参加に不安がある場合は、個別に教員に連絡することで、対面授業不参加の届け出を行うことも可能です。また、学生が新型コロナウイルスのワクチン接種を行う日は公欠の扱いとしています。

登校時には、検温や手指の消毒、スマートフォンからも回答できるアンケートフォームへの入構報告を行うよう、学生に対して呼び掛けています。また、各教室には消毒液やペーパータオル、パーテーションを設置し、教員にもフェイスシールドを配布するなど、安心して授業に参加できるように対策を行っています。

「感染を防ぎながらも学生の学ぶ権利を守る」ことを基本として、今後も状況に応じた対応を行っていきます。

就職支援

令和2年度、緊急事態宣言が発出され、学生が大学に来ることができなくなつた当初は、急ぎよメール、電話での個別相談や応募書類の添削等を実施しました。その後、Zoom¹⁾を利用したオンライン面談を実施。学生を採用する企業の多くが対面からオンラインでの面接へと切り替えたため、Zoomでの個別面談は実践練習にもなりました。

また入構制限解除後は、感染症対策を行った上での対面面談も行い、学生の不安を取り除くようにしました。学生からも「不安なときに電話や面談で対応してもらえて安心できた」、「オンラインの面接練習やエントリーシートの添削が大変助かった」という声が寄せられています。



オンラインによるセミナー

今後も感染状況をしながら、オンラインと対面との両面で学生をバックアップしていきます。

国際交流

令和2年3月には、急きよ春期海外研修に参加していた学生の帰国を早めるなど、プログラムの縮小を余儀なくされました。そんなコロナ禍の状況の中でも、イギリスの協定校、スターリング大学とのオンライン交流を行ったところ、学生から「参加して良かった！海外の学生の学びへの意欲が感じられ、良い経験になった！」という感想が寄せられました。

昨年度の経験を踏まえて今年度は、グローバル社会で活躍する女性を育成することを目標に、「日本でも今できる国際交流を学生に提供する」ことを追求しています。学生がコロナ禍で海外に行けないことを理由に語学学習や留学等を諦めるのではなく、モチベーションを維持していくことに重点を置いています。

そこで、「オンライン語学プログラム」「跡見英会話サロン（対面およびオンライン）」「協定校とのオンライン交流イベント」などを計画・実施しています。



スターリング大学とのオンライン交流の様子

オンラインでは、世界中の人といつでも気軽につながることができます。今後現地派遣を再開しても、継続してオンラインプログラム・交流会の企画をしていく予定です。



学びを止めない。 中止になった行事は新たな企画で盛り上げる。

授業

跡見学園中学校高等学校では、コロナ禍であっても学びを止めることのないよう、令和2年度の休校によるオンライン授業では「教師、生徒の1対1²⁾テラシー向上のチャンス」としました。

登校が始まってからは、検温・手指消毒等、感染対策に取り組みながら授業を展開しています。授業が再開されたとはいえ、対面での授業では密にならないようという制約があるため、たとえば理科では、教師が実験を撮影して動画で流すなどの工夫をしています。生徒たちも授業ではiPadを活用し、オンライン授業時に習得したITスキルが大いに生かされています。

行事

学校行事は、友だちと協力し合う姿勢や、自主的・実践的な姿勢を育てる大事な教育活動です。コロナ禍だからとただ中止にするのではなく、新たな企画を立てることで、生徒たちの成長の場を設けています。

令和2年度の9月から3月に一度延期した修学旅行は、ギリギリまで実施を模索しましたが、2月の初めに断念しました。その代わりに中3の生徒には「社会問題スタディツアー」を急ぎよ実施。「膨大な食品ロスのこれからの考えるツアー」などアコースに分かれて、従来から学習してきたSDGs³⁾に関する現場を見学しました。バスは1席ずつ空け、車内でのおしゃべり禁止などコロナ対策を念入りに行つての実施でした。訪問先からは「このような事態でも学習を続ける姿勢に感銘を受けました」との感想をいただいています。

入試

2021年2月の入試では「安心安全な環境で受験していただく」ことを目標に掲げ、密を避けるため、大アリーナを会場としました。



2021年2月の入試は、大アリーナで実施

考慮した主な点は次の通りです。①入退場で密にならないようにする。②机を前後左右1m以上空けて、常に換気。③休憩のトイレ案内で密にならないようにする。④体調不良の受験生に追試の機会を与える。特に白衣を着た養護教員を会場に配置することで、その姿を見た受験生が安心感を持つるようしました。

また、会場が広いため、トイレ休憩から戻る生徒が迷子にならないよう、列ごとにラベルの色分けをするなどの工夫も行いました。手探りで対策でしたが、受験生からは「心配なく受験できた」との声が聞かれました。

令和3年度はオンラインによる学校説明会や体験授業と、対面による学校見学会を併用して跡見学園の魅力発信。感染状況を見ながら、入試本番まで臨機応変に対応していきたいと考えています。

こうしてコロナ対策!

音楽科 マスクをはずして行う活動は感染のリスクが高いため、現在は、歌やリコーダーを行わず、ボディパーカッションやハンドベルなどを授業に取り入れています。

体育科 授業前後の手洗い、うがい、手指消毒を徹底し、運動強度に合わせてマスクの着脱を行っています。集合隊形などではマスク着用、私語厳禁とし、メリハリある行動ができるよう促しています。



社会問題スタディツアーでの「働く」から障害との向き合い方を考えるツアー」にて

な行事をどうしたら実施できるのか、あるいは代替できるのかを考えながら生徒たちの成長の場を設けていきたいと思います。

*2) リテラン：知識や情報を有効活用できる能力。

*3) SDGs：「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた、「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」を始めとする17の目標。

*iPadはApple inc.の登録商標です。

*1) 「Zoom」とは、アメリカのZoom Video Communications社が提供するインターネットを通じて遠隔地同士でコミュニケーションを行うオンラインミーティングツールです。